

教員名

清水信年

企画名

Student Innovation College (Sカレ)

商品開発型
企業



企画・活動概要

マーケティングを学ぶ全国の大学生およそ400名が参加する商品企画コンテスト(2019年度で第14回を迎えた)。1チーム3名を基本とする各チームが企業から示されたテーマにもとづき約半年間をかけて市場調査、コンセプト構築、試作品製作などを行ない最終プレゼンで審査される。各テーマで1位に選ばれたチームの企画内容は、当該企業によって実際の商品化・事業化が行われる。

経緯・背景・目的

当事業に清水ゼミは第1回から参画しており、毎年度異なる企業にご協力いただいている。支援企業においては、学生視点からのマーケティング提案を自社の課題解決に活用し、また優秀な学生をリクルーティングする狙いがある。大学側においては、実際に当該企業に商品化を検討していただくレベルの商品企画を提案するという実学教育の機会を得ることができるというメリットがある。

取り組む課題

2019年度は、以下のようなテーマが支援企業から示された。(◎印のついたものが、清水ゼミのチームが挑戦したテーマ)

「柵技術と縁起を活用した商品」◎、「クリアシート小物」、「人生がより充実する旅雑貨」、「介護福祉に役立つマグネット」◎、「簡単設置の避難所ブース」◎、「社会課題を解決する印刷製品」、「2020年夏休みの学生旅行」◎、「リポD若年層ユーザー拡大策」

本学(学生)の役割

日ごろ学んでいるマーケティングや経営学の知識、独自で行う調査などにもとづき魅力的な商品提案を行う。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2019年6月より各チームが活動をスタートし、同年10月の「秋カン」(中間報告会、法政大学)、同年12月の「冬カン」(最終報告会、近畿大学)においてその成果を発表した。残念ながら今年度は各テーマでの1位に選ばれたチームが清水ゼミからは出なかったが、これまでゼミや日頃の講義で学んだ知識を実際に活用する取り組みの集大成として、学生にとっては重要な機会となった。

指導教員および関係者の紹介

ご協力企業: Sカレ委員会 <http://s-colle.ws.hosei.ac.jp/>

指導教員: 流通科学大学商学部 教授 清水信年

https://www.umds.ac.jp/academics/profile/index_sa/shimizu/